

授業科目	ソーシャルワーク演習(専門)A (B クラス)				単位	1		
履 修	選択	関連資格	精神保健福祉士		ナンバリング	WE21308J		
開講年次	2	開講時期	後期	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP2-1 DP2-2 DP3-1 DP3-2 DP4-1 DP4-2 DP4-3 DP5-1 DP5-2			
担当教員	今村 浩司							
授業概要	<p>ソーシャルワークの知識と技術に係る他の科目との関連性も視野に入れ、精神保健福祉士に求められる相談援助に係る基礎的な知識と技術について、実践的に習得するとともに、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができるよう演習を行う。</p> <p>精神保健福祉領域での相談援助の実践経験を有する実務家教員が、可能な限り具体的事例を取り上げ、個別・集団指導を通して相談援助に係る基礎的な知識と技術に関する具体的な実技を用いるよう演習を行う。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 精神障害者の生活や生活上の困難について理解する。 2. 精神保健福祉士に求められる相談援助に係る知識と技術について理解する。 3. 専門的援助技術を概念化、理論化し、体系立てていくことが理解できる。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	45	0	0	55	100	
知識・理解 (DP1-1)			10				10	
知識・理解 (DP1-2)			15				15	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)			10			1	11	
思考・判断 (DP2-2)			10			2	12	
関心・意欲 (DP3-1)						8	8	
関心・意欲 (DP3-2)						10	10	
態度(DP4-1)						2	2	
態度(DP4-2)						10	10	
態度 (DP4-3)						2	2	
技能・表現 (DP5-1)						10	10	
技能・表現 (DP5-2)						10	10	
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
相談援助に係る基礎的な知識と技術について、実践的に理解したうえで説明できる。 専門的援助技術を概念化、理論化し、体系立てていくことを、理解したうえで説明できる。				相談援助に係る基礎的な知識と技術について、実践的に説明できる。 専門的援助技術を概念化、理論化し、体系立てていくことを、説明できる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)
1	オリエンテーション 自己理解と他者理解について			講義形式や集団指導、個別指導を行う		毎時間、課題を指示する		60

2	基本的なコミュニケーション技術について バイステックの7原則	講義形式や集団指導、個別指導を行う	毎時間、課題を指示する	60
3	基本的な面接技術について 面接相談・電話相談・訪問相談	講義形式や集団指導、個別指導を行う	毎時間、課題を指示する	60
4	グループダイナミクス活用技術について グループワークの展開、心理教育、精神科デイケア	講義形式や集団指導、個別指導を行う	毎時間、課題を指示する	60
5	情報の収集・整理・伝達の技術について インテーク	講義形式や集団指導、個別指導を行う	毎時間、課題を指示する	60
6	課題の発見・分析・解決の技術について アセスメント	講義形式や集団指導、個別指導を行う	毎時間、課題を指示する	60
7	記録について 記録の必要性、方法、技術、マッピング	講義形式や集団指導、個別指導を行う	毎時間、課題を指示する	60
8	地域福祉援助技術について コミュニティの形成や地域包括支援	講義形式や集団指導、個別指導を行う	毎時間、課題を指示する	60
9	地域住民に対するアウトリーチとニーズ把握	講義形式や集団指導、個別指導を行う	毎時間、課題を指示する	60
10	地域アセスメントについて コミュニティアセスメント	講義形式や集団指導、個別指導を行う	毎時間、課題を指示する	60
11	地域福祉の計画について システムの支援	講義形式や集団指導、個別指導を行う	毎時間、課題を指示する	60
12	ネットワーキングについて ネットワーキング連結技法	講義形式や集団指導、個別指導を行う	毎時間、課題を指示する	60
13	社会資源の活用・調整・開発について 地域での展開法	講義形式や集団指導、個別指導を行う	毎時間、課題を指示する	60
14	サービス評価について コミュニティでの成果	講義形式や集団指導、個別指導を行う	毎時間、課題を指示する	60
15	演習総括	講義形式や集団指導、個別指導を行う	毎時間、課題を指示する	60
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				

23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	精神保健福祉士の導入的演習科目です。さまざまな知識や技術が必要になってきますので、精神保健福祉に限らず、たくさんの講義で学んだことの復習をして、理解を深めておいてください。			
テキスト	適宜、資料配布をします。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	「我が国の精神保健福祉」厚生労働省障害保健福祉部精神・障害保健課監修最新版			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	精神保健福祉士への導入的演習科目です。演習ですので当然ながら積極的な参加と態度が必要です。精神保健福祉士国家試験受験資格取得希望者は、必修の科目になります。			
達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	レポート、授業貢献度にて評価します。 その他については、具体的な実践場面を想定した実技指導(ロールプレイ等)やグループワークの内容、積極性や参加意欲も併せて評価します。			

